

研究課題名	診療録を利用した自己免疫性肝・胆道疾患の予後に寄与する因子を探索する研究
研究の意義・目的	本邦における自己免疫性肝・胆道疾患には、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、原発性硬化性胆管炎などがあり、近年増加傾向にあります。本研究は、自己免疫性肝・胆道疾患の短期および長期的な予後を検証することで、予後に関係する因子を明らかにし、予後対策を提案する研究です。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 2026年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2007年1月～2026年12月に大阪公立大学医学部附属病院の肝胆膵内科で、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、原発性硬化性胆管炎の治療のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、家族歴、生活習慣、血液検査データ、病理組織検査所見、腹部超音波検査画像、CT画像、MRI画像】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院・肝胆膵内科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院・肝胆膵内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 研究責任者 小塚 立蔵
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 (担当者氏名) 小塚 立蔵 電話番号：(06) 6645-3905 メールアドレス：rkozuka@omu.ac.jp